

株式会社アクシス 2023年12月期第2四半期 決算補足説明資料

2023年 8月 9日



証券コード：4012 / 東証スタンダード

- I 2023年12月期第2四半期 決算実績**
- II 2023年12月期 通期業績見通し**

I

2023年12月期第2四半期 決算実績



売上高

3,118百万円
(前年同期比+11.0%)

営業利益

331百万円
(前年同期比+6.6%)

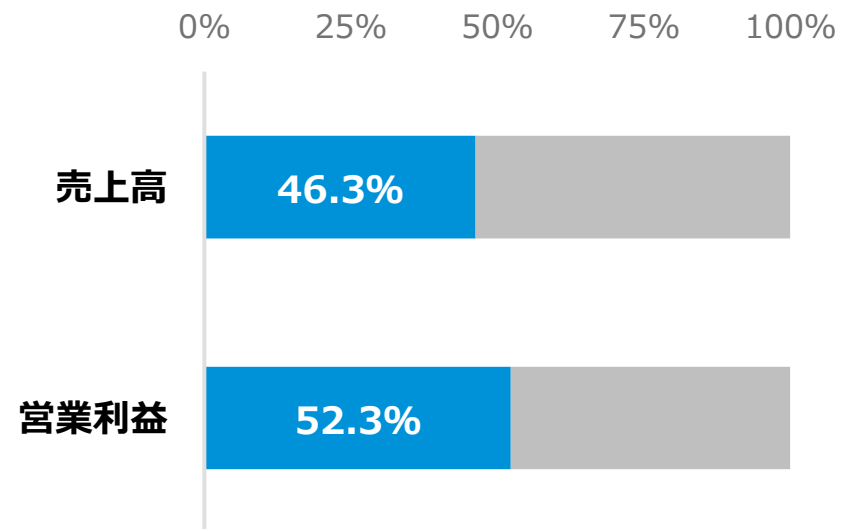
営業利益率

10.6%
(前年同期比-0.5p)

■ポイント

- ✓ 売上高は前年同期比+11.0%、営業利益も同+6.6%と好調
- ✓ DXを含む企業のITシステム投資が好調、受注残高も増加
- ✓ 営業利益率は10.6%と高水準を維持
- ✓ 資源高及び物価高の業績への影響はなかった
- ✓ 業績好調により、新たな中期経営計画を近日発表予定

通期業績予想に対する進捗率



DXを含む企業のIT投資意欲は旺盛で、前年同期比で増収増益を達成

売上高、各段階利益とも第2四半期で過去最高を更新

給与のベースアップ等により利益率は微減も大きな影響はなく、通期業績予想に対する進捗率も順調

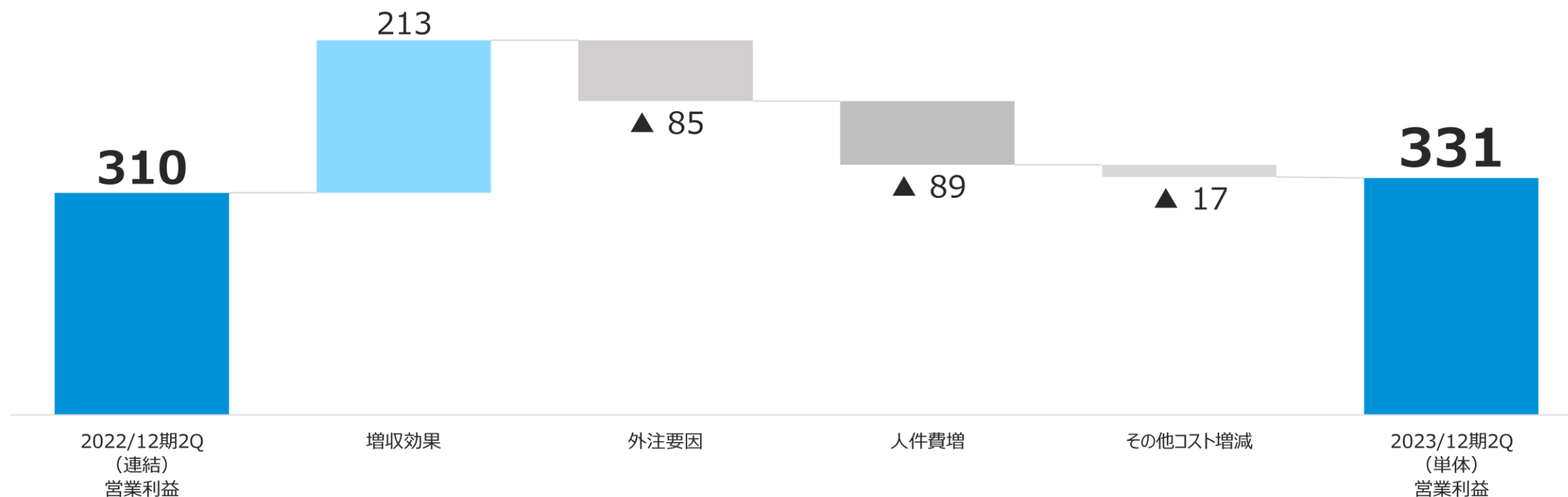
(百万円)

	2022/12期 2Q (連結)	2023/12期 2Q (単体)	前年同期比		通期業績予想 に対する進捗率
			増減額	増減率	
売上高	2,808	3,118	+309	11.0%	46.3%
売上総利益	752	813	+61	8.2%	47.1%
営業利益	310	331	+20	6.6%	52.3%
経常利益	319	343	+23	7.5%	52.9%
四半期純利益	204	223	+19	9.4%	34.4%
1株当たり四半期純利益 (円)	50.79	54.83	+4.04	7.9%	
売上総利益率	26.8%	26.1%		-0.7p	
営業利益率	11.1%	10.6%		-0.5p	
経常利益率	11.4%	11.0%		-0.4p	

大幅な売上増加により、増強したエンジニアの人件費や外注要因などの減益要因を吸収し、増益を達成

営業利益 増減益要因 (▲はマイナス影響)

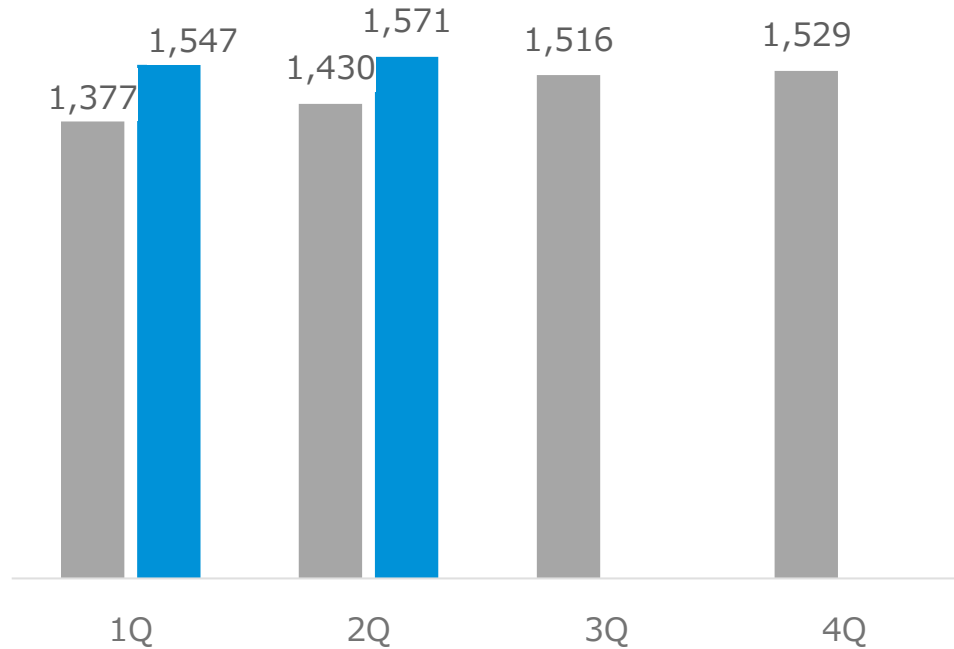
(百万円)



業績は好調に推移し、第2四半期会計期間で過去最高の売上高、営業利益を更新

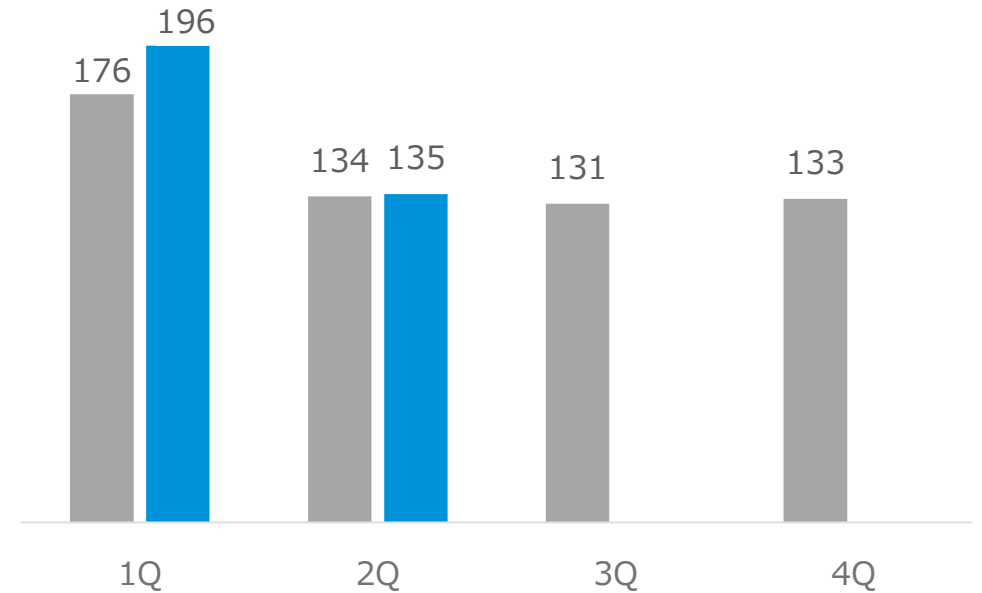
売上高

■ 2022/12期 ■ 2023/12期 (百万円)



営業利益

■ 2022/12期 ■ 2023/12期 (百万円)



DXを含む旺盛な企業のIT投資を背景にシステムインテグレーション事業は好調に推移、受注残も増加

ITサービス事業については、クラウドサービス「KITARO」（リアルタイム運行管理サービス）が好調に推移

(百万円)

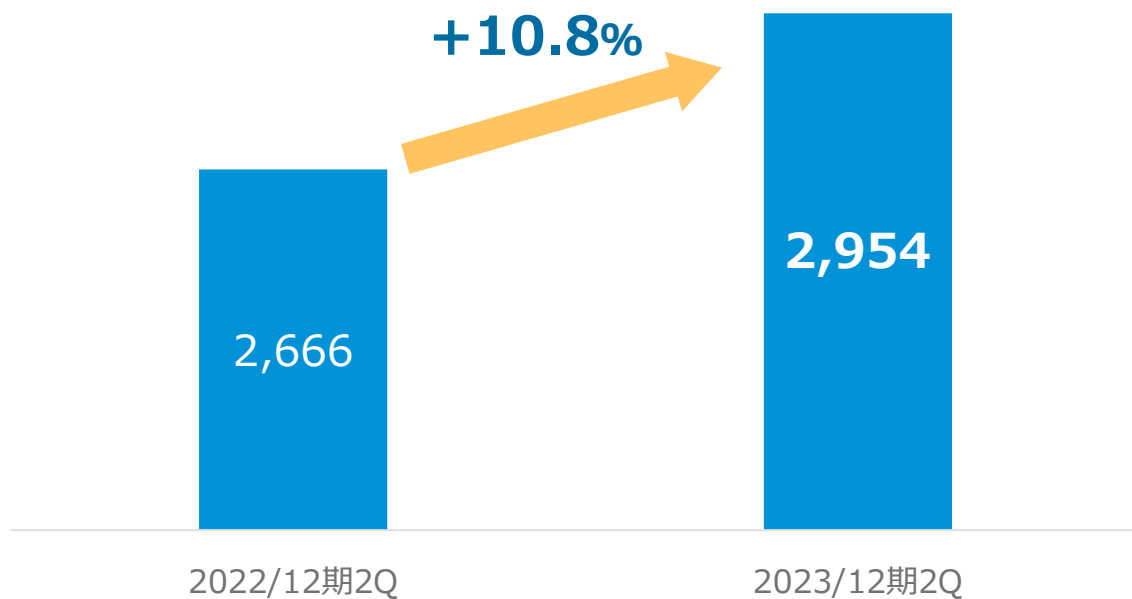
		2022/12期2Q (連結)	2023/12期2Q (単体)	前年同期比	
				増減額	増減率
システムインテグレーション事業(SI)		2,666	2,954	+287	10.8%
ITサービス事業(IT)		141	163	+21	15.5%
合計(売上高)		2,808	3,118	+309	11.0%
主要KPI					
SI	受注残高(百万円)	1,194	1,307	+113	9.5%
SI	社員一人当たり売上高(千円)	7,054	7,101	+47	0.7%
IT	「KITARO」契約台数(台)	8,229	8,135	▲94	-1.1%

事業別売上高：システムインテグレーション事業

システムインテグレーション事業は好調に推移、前年同期比で+10.8%の増収
受注残も前年同期より堅調に増加し、第2四半期会計期間では過去最高を更新

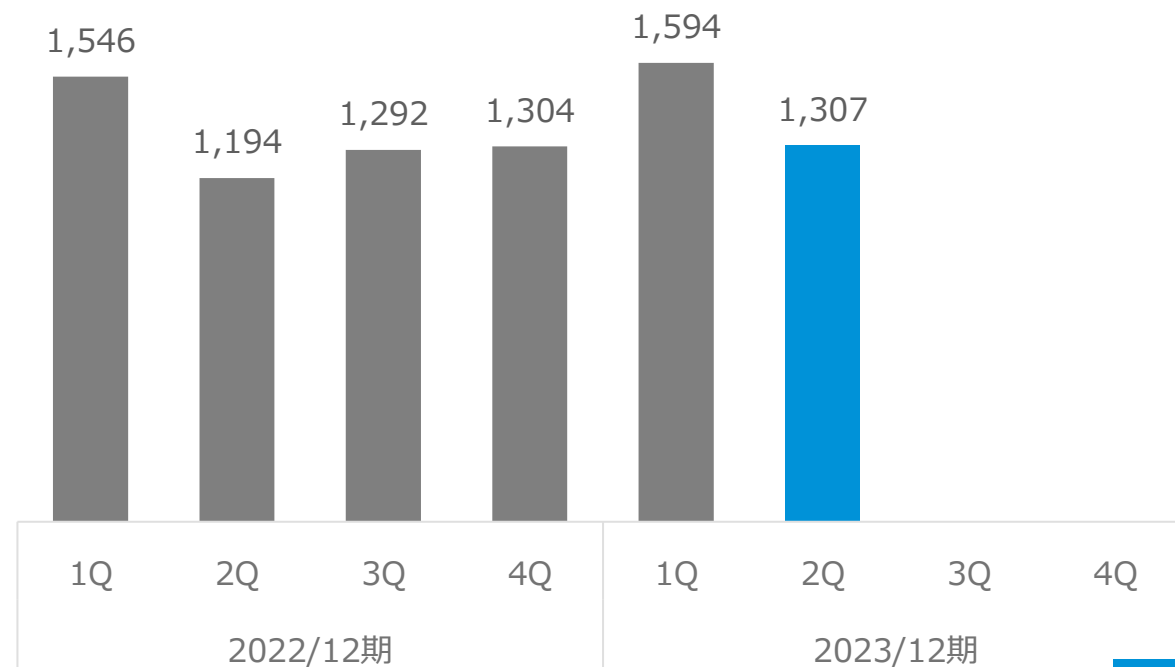
SI事業 売上高

(百万円)



受注残高の四半期別推移

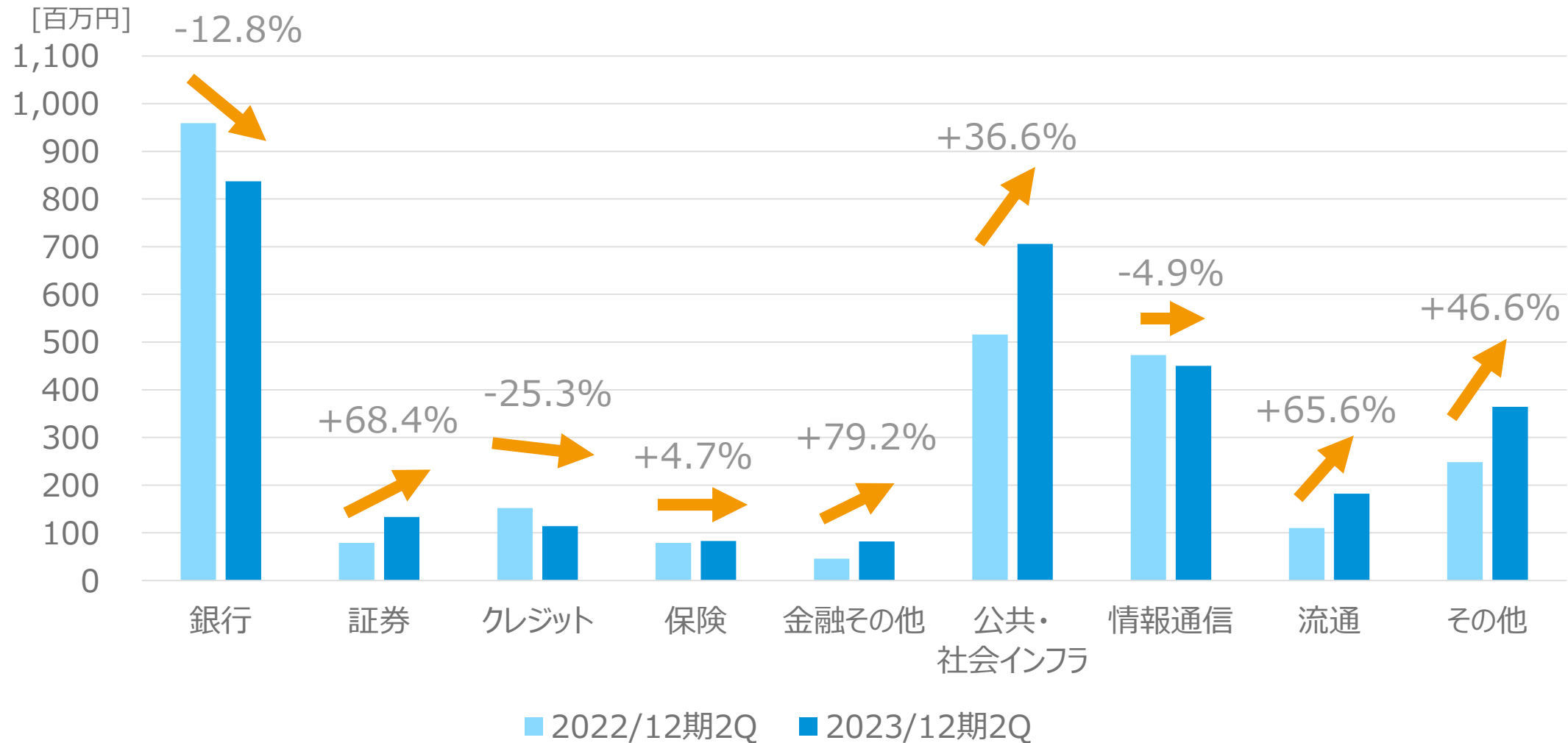
(百万円)



事業別売上高：システムインテグレーション事業：業種別売上高

官庁案件の直接受注、航空系案件の受注増など公共・社会インフラが大幅に増加

銀行の減少は一部大型案件終了によるものだが、想定の範囲内



ITサービス事業は、クラウドサービス「KITARO」の機器販売増などにより、売上高は好調に推移

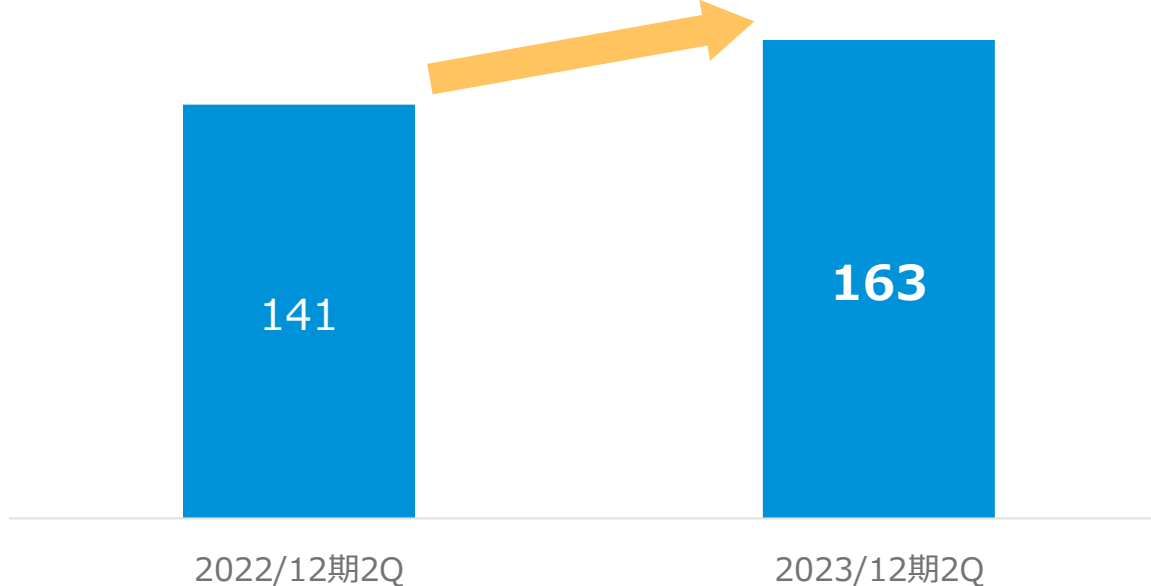
契約台数は微減も、新規契約台数は増加傾向

1社あたりの契約台数は増加傾向にあり、引き合いも増加していることから需要回復想定は変わらず

ITサービス事業 売上高

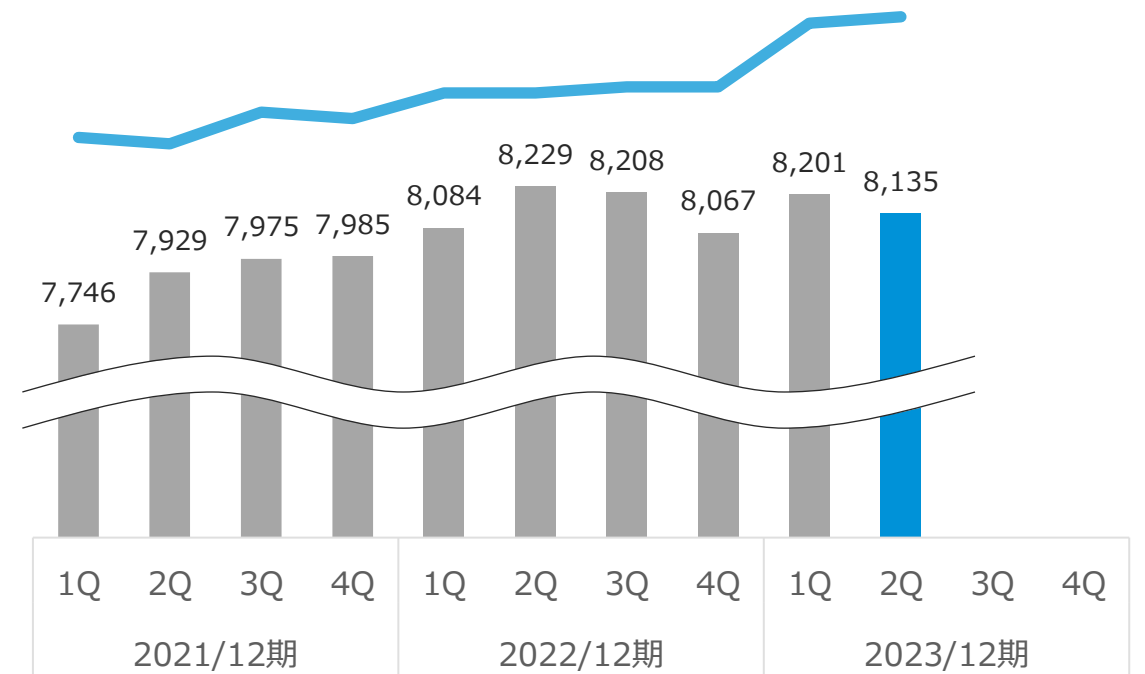
(百万円)

+15.5%



「KITARO」契約台数の推移

■ KITARO契約数 ■ 売上高



利益増に伴い純資産は堅調に増加

営業CF減少（賞与支給日を7月から6月に変更）と投資CF増加（本社増床及び支店事務所の移転）によりFCFは減少も、自己資本比率は+2.1p増加し健全な状態を維持

主なB/Sの状況

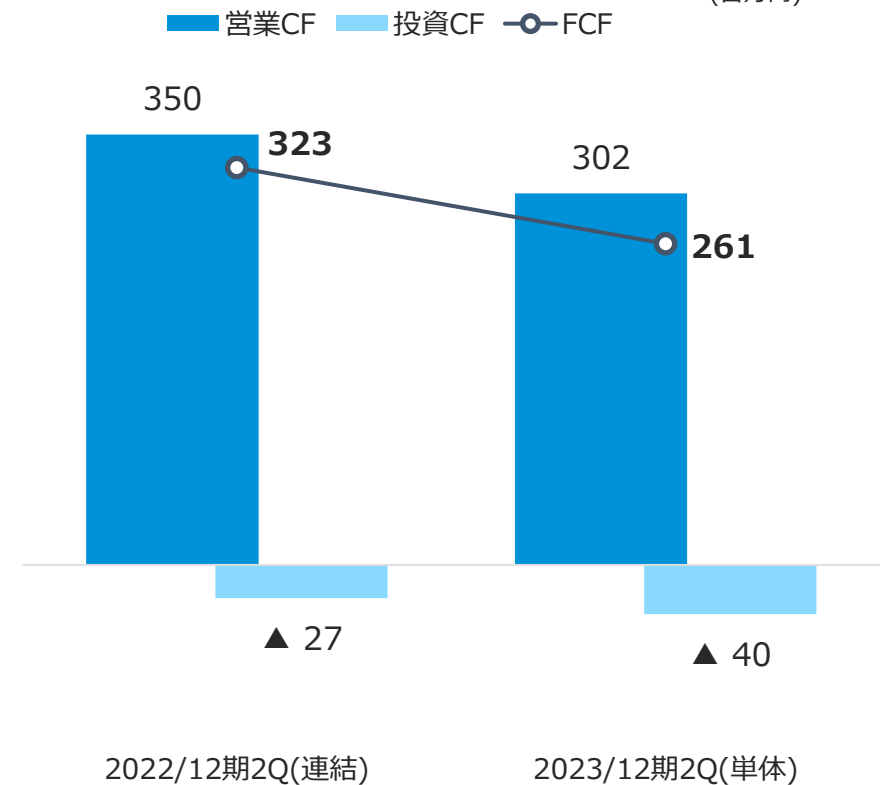
(百万円)

	2022/12期 (連結)	2023/12期 6月末(単体)	前期比増減
流動資産	2,931	3,079	+147
現預金	2,063	2,295	+232
売掛金及び契約資産	804	709	▲94
棚卸資産	13	24	+10
固定資産	555	577	+21
のれん	245	230	▲15
総資産	3,487	3,656	+169
負債	943	913	▲30
買掛金	200	209	+9
有利子負債	—	—	—
退職給付引当金*	246	250	+4
純資産	2,543	2,743	+199
負債純資産合計	3,487	3,656	+169
自己資本比率	72.9%	75.0%	+2.1p

*2022年12月期は「退職給付に係る負債」

主なCF数値の状況

(百万円)



「安否確認サービス」の提供開始

SMSを活用し安否確認を行う「安否確認サービス」を開始しました。従業員との緊急時連絡が可能となり、災害時や緊急事態における従業員の安否確認を容易に行えます。



💡「安否確認サービス」のポイント💡

- ① 災害時や緊急事態時に登録した連絡先に自動で安否確認メッセージを送信
- ② 受信した通知にワンプッシュするだけで、安否情報を容易に報告
- ③ 登録した連絡先のセキュリティにも配慮し、個人情報の保護に最大限の注意

「IT導入補助金2023」の「IT導入支援事業者」に採択

独立行政法人中小企業基盤整備機構から「IT導入補助金2023」の「IT導入支援事業者」として採択、登録されました。

独立行政法人中小企業基盤整備機構は「中小企業・小規模事業者等の生産性向上に資するITツール導入費用の一部を補助する事業」を推進しており、本事業を実施するパートナーとして 中小企業・小規模事業者等に対してITツールの導入・運用・相談等のサポートを行う事業者が「IT導入支援事業者」です。

アクシスは「IT導入支援事業者」として、クラウドサービス「KITARO」（リアルタイム運行管理システム）を活用し、企業の業務効率化を含めたDX推進を支援してまいります。

■ IT導入補助金2023

<https://www.it-hojo.jp>

当社代表 小倉がラジオNIKKEI 「企業トップが語る！威風堂々」にゲスト出演しました

当社代表の小倉が、ラジオNIKKEI「企業トップが語る！威風堂々」にゲスト出演し、「相場の福の神」ことアナリストの藤本誠之氏と対談しました。



■ 紹介URL

<https://www.radionikkei.jp/ifudodo/93392023412.html>

■ ポッドキャスト

<https://www.radionikkei.jp/podcast/ifudodo/20230419.html>

スポーツひのまるキッズのゼッケンスポンサーとして協賛

通算100回記念大会である関東小学生柔道大会において、ゼッケンスポンサーとして協賛し、「スポーツを通じて“親子の絆”を深める」スポーツひのまるキッズの活動を支援いたしました。



(写真提供：一般社団法人スポーツひのまるキッズ協会)

当社は、親子の絆を深めるスポーツひのまるキッズの活動に賛同し、2014年から協賛しています。これからも当社は、子どもたちが明るく過ごせる社会のために活動をしていきます。

12月1日より改正道路交通法の「アルコールチェック義務化」がスタート予定 クラウドサービス「KITARO」は完全対応

当初、2022年10月から予定されていた「アルコール検知器使用義務化」は、検知機器類の供給が間に合わないことから当分の間延期されていましたが、警察庁より2023年12月1日施行の方針が出され、現在、調整が進んでいます。

★道路交通法改正に伴うアルコールチェック義務化のポイント

2022年4月1日～

- ▶ 乗務前後の点呼と酒気帯び確認の実施（目視可）
- ▶ 確認結果の記録保存（1年間）

2023年12月1日開始予定

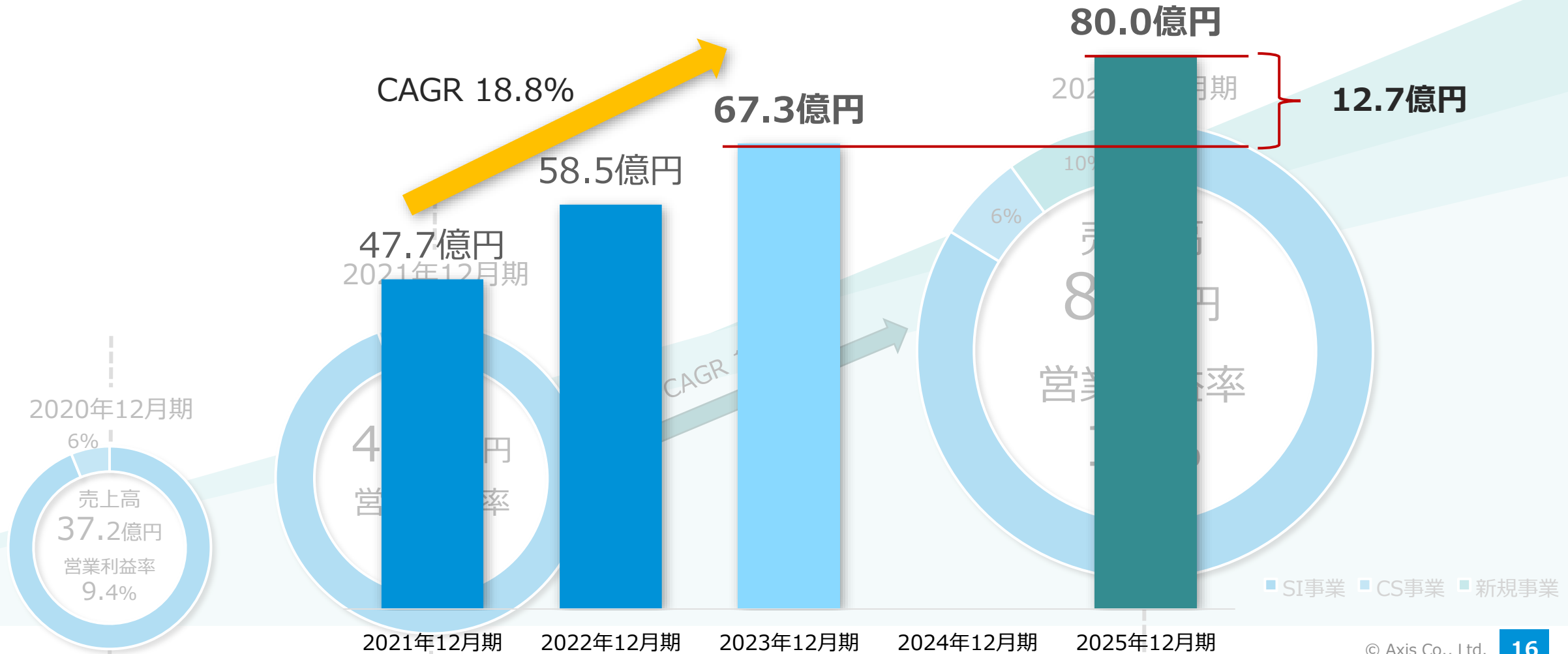
- ▶ 酒気帯び確認でのアルコール検知器使用義務化
- ▶ 常時正常に機能するアルコール検知器の保有

クラウドサービス「KITARO」は、アルコールチェック義務化に完全対応しており、アルコール検知器とのデータ連携とビデオ通話により、効率的で確実な検査結果の記録が可能です。



近日中に新たな中期経営計画を発表予定

好調な事業推移により、現在2021年に策定した中期経営計画の目標値を前倒して達成する見込み
現況を踏まえ現在新たな中期経営計画を策定しており、近日中に開示予定



Ⅱ 2023年12月期 通期業績見通し



売上高

6,734百万円
(前期比+15.0%)

営業利益

634百万円
(前期比+9.9%)

営業利益率

9.4%
(前期比-0.4p)

■ポイント

- ✓ 15%増収、10%営業増益と4期連続の増収・増益、過去最高更新を見込む
- ✓ DXを含む企業のITシステム投資は引き続き好調想定（金融、成長領域、直ユーザー案件受注を見込む）
- ✓ 更なる成長のための積極的な人材投資により、営業利益率は前期比-0.4pの9.4%を見込む
- ✓ 配当は、記念配を普通配として継続すると共に、**5円増配し合計15円/株**を予定
- ✓ 資源高及び物価高の業績への影響は軽微と想定

2023年12月期の通期業績見通し

DXを含む企業のITシステム投資が引き続き好調を想定

システムインテグレーション事業は8.2億円の増収、ITサービス事業では0.5億円増収を見込む

(百万円)

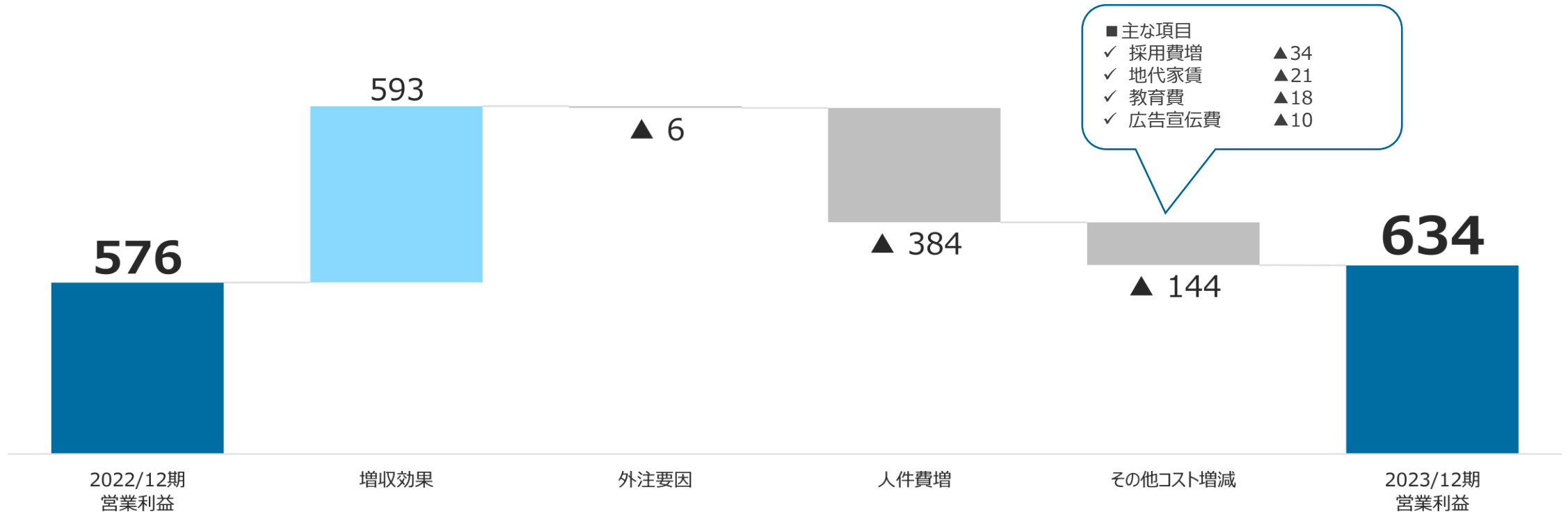
	2022/12期 (連結)	2023/12期 (単体) 通期業績見通し	前期比	
			増減額	増減率
売上高	5,854	6,734	+879	15.0%
システムインテグレーション事業(SI)	5,569	6,391	+821	14.7%
ITサービス事業(IT)	285	343	+57	20.3%
売上総利益	1,495	1,726	+230	15.4%
営業利益	576	634	+57	9.9%
経常利益	586	649	+62	10.7%
親会社株主に帰属する当期純利益	390	461	+70	18.2%
1株当たり当期純利益(円)	97.05	111.27	+14.22	14.7%
売上総利益率	25.5%	25.6%		0.1p
営業利益率	9.8%	9.4%		-0.4p
経常利益率	10.0%	9.6%		-0.4p
<業績見通し前提>				
SI プロジェクト件数(件)	302	305	+3	+1.0%
SI プロジェクト平均単価(千円)	18,449	20,954	+2,510	13.6%
SI 社員一人当たり売上高(千円)	14,065	14,329	+264	1.9%
IT 「KITARO」契約台数(台)	8,067	9,027	+960	11.9%

※2023年12月期より非連結決算に移行。前期比は、2021年12月期の連結決算との比較
2022年12月期決算短信の「2023年12月期の個別業績予想」における前期比は単体業績との比較

資源高及び物価高などの影響はない想定。堅調な企業のIT投資により継続して売上の拡大を見込む
エンジニアの中途採用や本社スタッフ増強による人件費増を吸収し、営業利益は大幅増の見通し

営業利益 増減益要因 (▲はマイナス影響)

(百万円)



引き続き、クラウド開発案件など、企業のDX/IT投資は好調に推移する見込み

受注体制の増大と高収益案件へのシフトにより、規模の拡大と収益性向上の両立を目指す

売上高：6,391百万円

+14.7%



(百万円)



2022/12期



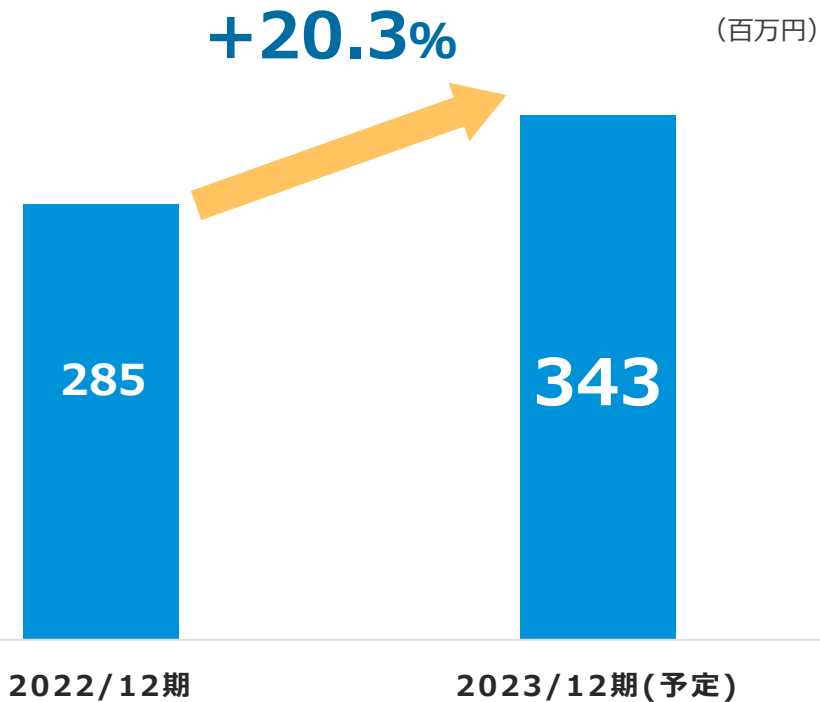
2023/12期(予定)

重点施策	
高収益案件へシフト	
	クラウド化導入支援などの成長領域や直ユーザー案件受注に注力
	強みである金融分野、公共・社会インフラ分野を更に増加
受注体制の増大	
	パートナー比率40%以上を目指す
	パートナーとの共創意識を醸成し、強固な取引関係を構築
積極的な人材投資を実施	
	AWSを活用したクラウド化案件等、成長領域の専門知識を強化
	新卒・中途社員の採用を継続して拡大
	早期戦力化に向けた教育の更なる充実を図る

クラウドサービスは、「KITARO」の解約台数が減少傾向（2021年12月期比）のため需要回復を想定。「KITARO」での機能アップや新たなサービスの提供により多様化を図る

セキュリティ及びデジタルコンサルティングサービスは、事業の安定化に向けた活動を実施

売上高：343百万円



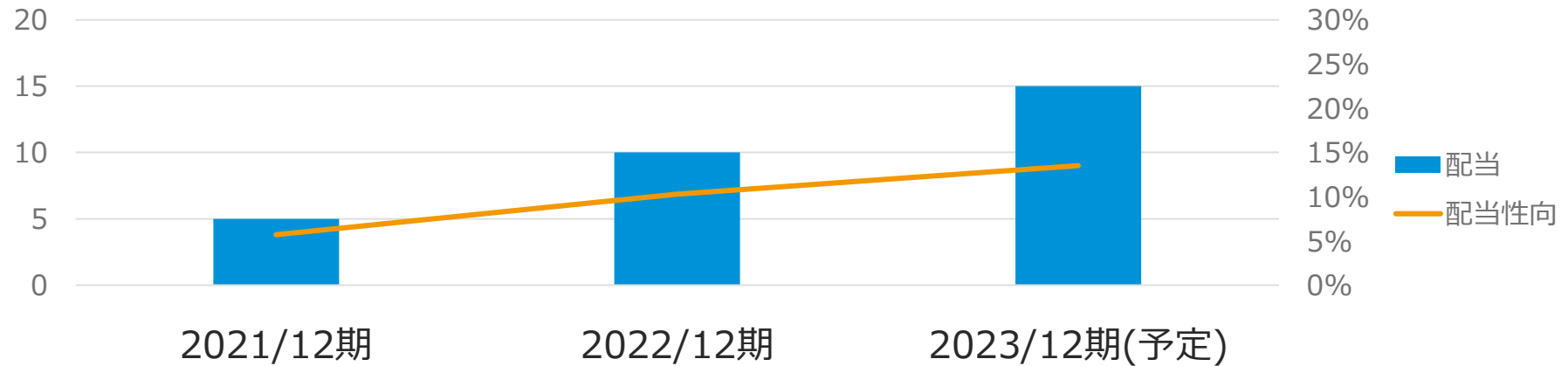
重点施策	
<ul style="list-style-type: none"> クラウドサービス 	
	「KITARO」は、広告宣伝を積極的に展開し、期末契約台数9,027台（+960台）を計画
	新たなサービスの提供を開始予定
<ul style="list-style-type: none"> セキュリティサービス 	
	セキュリティオペレーションセンターや脆弱性診断の人材サービスの提供
	エンドポイントなどのセキュリティ製品の販売
<ul style="list-style-type: none"> デジタルコンサルティングサービス 	
	中小企業のバックオフィス業務効率化に注力
	多様なDXのニーズに応えるため、デジタル化を支援するサービスおよび製品の拡充と整備を進める

株主還元：1株当たり年間5円増配し合計15円に

前期の東証スタンダード市場への市場区分変更の記念配当を普通配として継続すると共に、

今期は1株当たり年間 **5円を増配し、合計15.0円**を予定

成長への投資が必要となるものの、今後も株主還元は重視し、安定した配当を実施する方針



1株当たり年間配当	5円	10円	15円
配当性向	5.7%	10.3%	13.5%

< 見通しに関する注意事項 >

当資料に記載されている内容は、いくつかの前提に基づいたものであり、将来の計画数値や施策の実現を確約したり保証したりするものではありません。

当資料に記載されている数値については、端数の切り捨て処理を行っており、合算値が一致しない箇所がございます。

<問い合わせ先>

経営企画室 IR担当
03-6205-8540
ir@axis-net.co.jp